

柱4 学びの未来プラン

科学の進歩に対応する先進的な知識・情報・技術の習得、国際的な視野に立ち活躍できる能力を育成し、子供の未来を見据えた教育を行います。同時に、ふるさと和歌山の文化や伝統、歴史などを理解し大切にすることを養います。

未来プランでは、次代を担う子供の情報活用能力を育むとともに、進むグローバル化の中で異なる文化や歴史に立脚する人々と共存していく力を身に付けさせることを目指し、主に次の15、16の取組を重点的に行います。

★ 未来プラン① 子供の未来を創造する

取組15 子供の未来に生きて働く事業



- ・情報教育推進事業を充実させ、情報通信機器を活用した協働型・双方向型のより分かる授業革新・改善の研究を深めるとともに、次代に生きる子供の情報活用能力の育成を図ります。
- ・各小中学校に配置するALTを活用し、英語による積極的なコミュニケーションを図ろうとする意欲や自分の考えを相手に伝えるための発信力を養います。
- ・子供の豊かな発想や科学への興味関心を高め、創造性豊かな人材の育成を願い「発明創作事業」を実施します。

取組16 子供の未来につながる事業



- ・地域と学校が手をつなぎ、様々な教育課題について共に考え、子供を育てていこうとする基盤を創ることを企図する共育コミュニティ事業を実施します。子供が、地域社会に参画する中で、地域の一員としての自覚を持ち、人と人のつながりのなかで働くことの大切さなどを理解するなど、「未来の地域人」としての素地を養います。
- ・ふるさと和歌山の文化や伝統、先人や歴史などを理解し、その良さを継承し、異文化・歴史に敬意を払いながら、国際人としてよりよい未来を拓こうとする素地を養います。

平成29年度

30年度

実践

31年度

改善・深化

32年度

定着・発展

33年度

取組15 子供の未来に生きて働く事業

情報教育推進事業
英語教育推進事業
発明創作事業

- ・グローバル化や情報化の進展に伴って多様化する知識や課題に対応できる、子供の柔軟な思考力・適切な判断力の育成
- ・子供の豊かな発想や創造力を高めるとともに国際社会で生きて働くコミュニケーション能力の育成

科学の進歩や国際社会に
対応する力

取組16 子供の未来につながる事業

コミュニティースクールの推進
共育コミュニティ推進事業の拡充

共育コミュニティ推進事業の拡充・定着

ふるさとを誇りに思う未来の地域人の育成